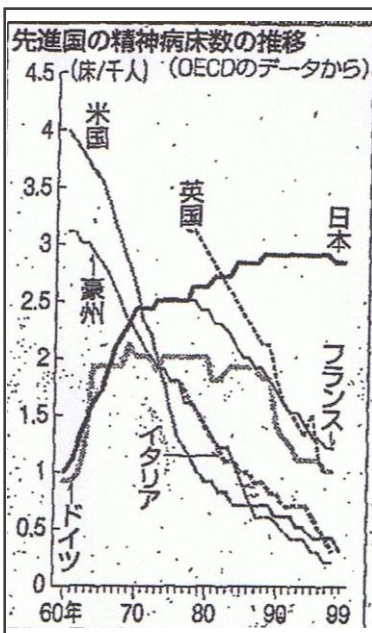


# 名家連ニュース

平成22年 6月26日(土)  
発行：名古屋市精神障害者家族会連合会  
会長 堀場洋二  
TEL(052)411-2890 FAX(052)411-7283  
No. 91号

## 平成22年6月22日 名古屋市との主な懇談項目 — 7月3日の名家連大会で詳細報告・今後の取り組みを議論 —

1. 来年度以降も電話・面談等による家族相談支援事業を継続できるよう予算措置をして下さい。
2. 精神障害者が適用除外となっている障害者福祉施策を3障害同等にして下さい。
3. 相談支援の窓口を拡充して下さい。
  - (1) 新障害者プランに即し15万人に1カ所の地域生活支援センターを設置して下さい。
  - (2) 人口数なども勘案し、保健所の相談員を2人体制にして下さい。
4. 愛知県下の市町村との格差を是正して下さい。
  - (1) 手帳3級所持者の自立支援医療費(精神通院)を全額助成して下さい。
  - (2) 手帳3級所持者に障害者医療費助成制度(全科無料)を適用して下さい。
  - (3) 障害者扶助料を支給して下さい。
5. 引き続き愛知県及び国に働きかけて下さい。
  - (1) JR等の鉄道運賃、航空運賃、有料道路通行料金割引を3障害同等にして下さい。
  - (2) 愛知県の障害者医療費助成制度(全科無料)を3障害同等にして下さい。
  - (3) 愛知県の在宅重度障害者手当を3障害同等にして下さい。



伊勢田先生の情報提供 — 6月18日の朝日新聞報道抜粋

### 精神疾患患者への訪問支援導入合意

— 厚労省チーム —

地域精神保健医療の体制を話し合う厚労省の検討チームは17日、医療や福祉の専門家チームが精神疾患患者の自宅を訪ね、治療や生活の相談に乗る訪問支援を本格導入することで合意。厚労省は来年度予算の概算要求に関連費用を盛り込む。現在、日本の在宅支援(アウトリーチ)チームは12チーム。

ACT-K(京都、検討チーム高木俊介委員)は医師、看護師、精神保健福祉士ら15人が24時間体制で患者約120人を上回る。チームの経費は年間約1億円。「入院治療だと3倍はかかる」と指摘。精神科入院は33万人、全入院患者の1/4。

東京の堀江さん、西田先生の情報提供です。構想会議に関するNHK福祉ネットワーク番組の再放送!

## 8月25日(水)26日(木)